

○中央卸売市場の整備

- 1 中央卸売市場施設整備：3, 140, 836千円【中央卸売市場第一市場】
294, 557千円【中央卸売市場第二市場】

京都市中央市場 (中央卸売市場第一市場)

(1) 事業概要

今後も市民を中心とした消費者に安全・安心でおいしい青果物や水産物をはじめとする生鮮食料品等を安定的に提供するとともに、「和食」さらには「京の食文化」の発展を支えていくため、施設の機能強化に向けた市場の再整備を推進します。

平成29年度は、水産部門の仮設移転先等として活用する花屋町駐車場棟の建設や賑わいゾーン整備に向けた水産事務所棟の解体等に取り組みます。



現在の中央市場第一市場

(2) 実施内容

- 総事業費 約600億円
- 平成29年度整備内容
 - ・ 水産棟改修等の実施設計：9,422千円
 - ・ 解体費用・建設費用(新花屋町立体駐車場の建設等)：2,015,107千円
 - ・ 地質調査・埋蔵文化財発掘調査等：504,658千円
 - ・ 市場活性化推進事業(※)：611,649千円

※ 施設整備期間中における主な場内事業者支援

- ① 移転、事業継承統合に関する相談窓口への支援
- ② 専門家派遣支援の充実
- ③ 再編統合(組合が実施する仲卸業者の経営力強化事業(仲卸業者の統合・再編の促進)への支援
- ④ 目利き技術者定着に向け、廃業先の人財を新たに雇用することに対する支援
- ⑤ 引越支援
- ⑥ 環境負荷の低減、衛生管理の向上及び経営力の強化に寄与する設備等の導入支援

京都市中央市場(食肉市場) (中央卸売市場第二市場)

(1) 事業概要

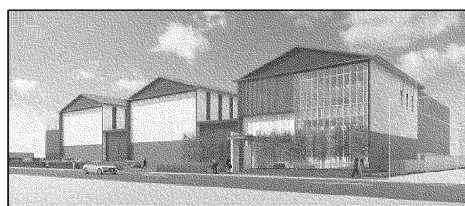
京ミートマーケットマスタープランに基づき、より「安全・安心・良質」な食肉を提供するとともに、海外輸出の推進や「食育」・「食文化」の学びの場となる施設として再整備するため、平成27年9月から全面建替え工事を進めています。

平成29年度は、平成30年度の稼動に向けて整備を進めるほか、アジア圏をはじめアメリカ、EU等への輸出認定の早期取得に向け、既に認定を取得している施設の調査や認定機関等との調整などの事前準備を行います。

また、本市場の更なる活性化に向けて、同プランに掲げる重点戦略に基づき、①卸売会社の経営改革、②更なる民間活力の活用と運営経費削減、③施設の改築、④京都府との連携強化、⑤京都の食文化及び安全・安心な食への貢献の取組を進めていきます。

【新施設の基本コンセプト】

- ① 安全で安心な食肉を提供する施設
- ② 京都ブランドを世界に発信する施設
- ③ 環境に配慮した施設
- ④ 市民などに関かれた施設



中央市場第二市場竣工パース

(2) 実施内容

- 総事業費 約 100 億円
- 平成 29 年度整備内容 市場本棟の建設等

【年間主要取扱品目別の取扱実績（年度）】

年 度	牛			豚		
	26	27	28	26	27	28
頭数(頭)	13,002	10,821	9,382	20,482	20,568	22,074
金額(千円)	11,708,151	12,054,482	11,090,867	897,506	846,952	873,042